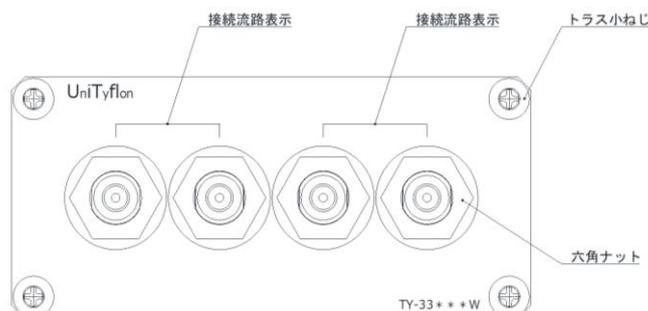


# 脱気モジュール TY33\*\*\*W シリーズ 取扱説明書



**禁止** 以下の行為は破損、事故の原因となります。

- 1) 中空糸膜にダメージを与えますので正面の樹脂製六角ナットやトラス小ねじを絶対に緩めたり外したりしないでください。



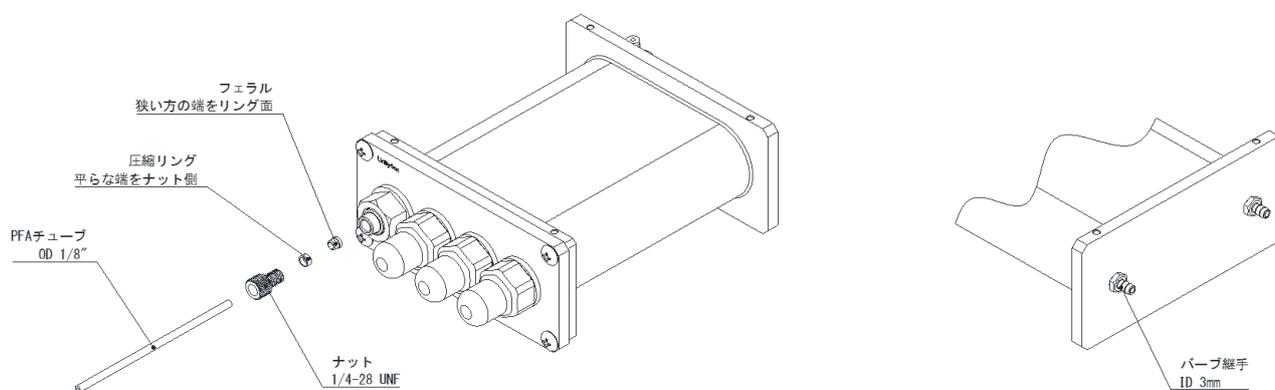
- 2) 逆さにしたり、落下及び衝撃や振動を与えないでください。
- 3) 脱気膜モジュールの最高通液耐圧は 0.3MPa(G)です。通常は 0.2MPa(G)以下でご使用ください。
- 4) 本体容器は減圧容器です。加圧では使用しないでください。

## 1.設置場所

脱気モジュールは横置きで設置してください。

## 2.配管の接続

- ①真空配管：ボディ背面の バーブ継手 (ID 3mm) に真空配管を接続してください。  
真空圧は通常 5~12 kPa (abs)程度で使用します。
- ②流路配管：流路の方向性はありません。  
接続流路表示に合わせて通液配管ジョイント部に PFA チューブ (OD 1/8") をスーパーフランジレスフィッティングナット (1/4-28 UNF) にて流路と接続します。



**禁止** 流路配管内 (中空糸膜内) を減圧しないでください。

**注意** 圧縮リング、フェラルの向きに注意してナットを締めながら、チューブをジョイントの下部に保持し、指でしっかりと締めてください。

## 3.操作

- ①出荷時に脱気膜モジュール内の流路系 (配管、中空糸膜内) は空の状態です。通常、最高通液耐圧 0.3MPa(G)を超えない範囲で膜内容積の 3~5 倍程度の流量で置換してください。  
中空糸膜内部が完全に置換されるまで液配管出口側から気泡が発生することがあります。
- ②精密機器、半導体分野等クリーン度が求められる環境で使用される場合は十分に洗浄置換してからご使用ください。

## 4.膜内容積

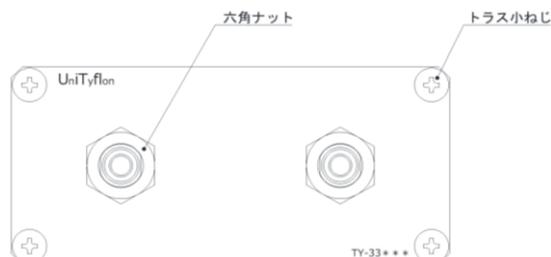
- TY-33005W : 約 10ml × 2
- TY-33010W : 約 15ml × 2

# 脱気モジュール TY33\*\*\*シリーズ 取扱説明書



**禁止** 以下の行為は破損、事故の原因となります。

- 1) 中空糸膜にダメージを与えますので正面の樹脂製六角ナットやトラス小ねじを絶対に緩めたり外したりしないでください。



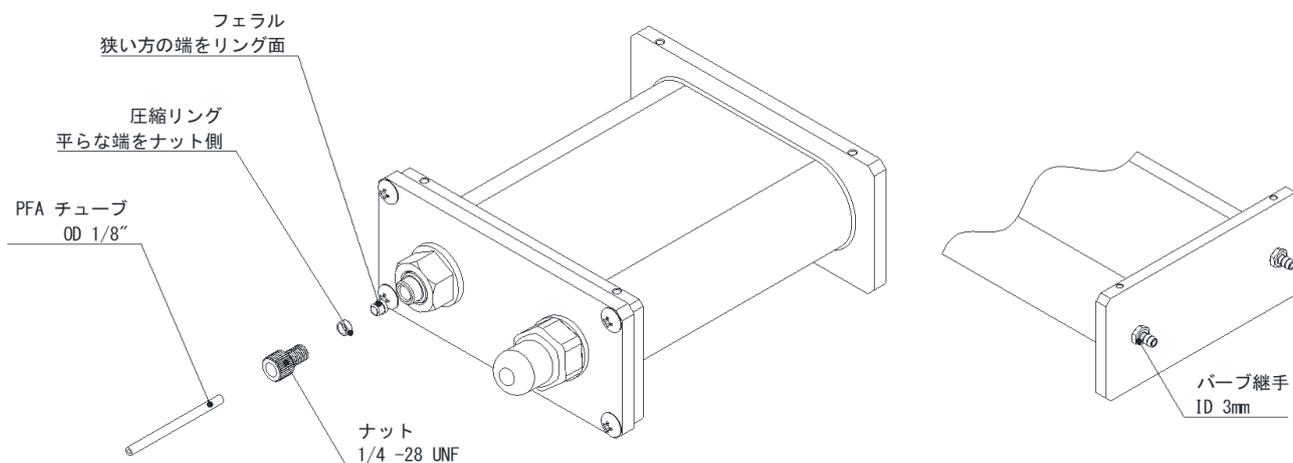
- 2) 逆さにしたり、落下及び衝撃や振動を与えないでください。
- 3) 脱気膜モジュールの最高通液耐圧は 0.3MPa(G)です。通常は 0.2MPa(G)以下でご使用ください。
- 4) 本体容器は減圧容器です。加圧では使用しないでください。

## 1.設置場所

脱気モジュールは横置きで設置してください。

## 2.配管の接続

- ①真空配管：ボディ背面の バープ継手 (ID 3mm) に真空配管を接続してください。  
真空圧は通常 5~12 kPa (abs)程度で使用します。
- ②流路配管：流路の方向性はありません。  
通液配管ジョイント部に PFA チューブ (OD 1/8") をスーパーフランジレスフィッティングナット (1/4-28 UNF) にて流路と接続します。



**禁止** 流路配管内 (中空糸膜内) を減圧しないでください。

**注意** 圧縮リング、フェラルの向きに注意してナットを締めながら、チューブをジョイントの下部に保持し、指でしっかりと締めてください。

## 3.操作

- ①出荷時に脱気膜モジュール内の流路系 (配管、中空糸膜内) は空の状態です。  
通常、最高通液耐圧 0.3MPa(G)を超えない範囲で膜内容積の 3~5 倍程度の流量で置換してください。  
中空糸膜内部が完全に置換されるまで液配管出口側から気泡が発生することがあります。
- ②精密機器、半導体分野等クリーン度が求められる環境で使用される場合は十分に洗浄置換してからご使用ください。

## 4.膜内容積

- TY-33025 : 約 40ml
- TY-33050 : 約 65ml